

平成30年5月発行

選べる！学べる！ かながわの県立高校

神奈川県には、平成30年度現在、142校の、様々なタイプの県立高校があります。県立高校には通学区域(学区)がなく、県内に住んでいれば、どの高校にも志願することができます。

このリーフレットでは、中学生の皆さんに高校選びのポイントを紹介します。自らの興味や関心、将来の進路希望のほか、生活スタイルや学習ペースなどを考えて、自分に合った高校を選びましょう。



～ 高校選びのポイント 3つの視点 ～

- 1 学びのペースや方法から考える ⇒ **課程** (全日制・定時制・通信制)
- 2 学びのしくみから考える ⇒ **学びのしくみ** (学年制・単位制)
- 3 学びの内容から考える ⇒ **学科** (普通科・総合学科・専門学科)

学びのペースや方法から考える

- 高校は、学習する時間帯や学習方法などの違いにより、3つの課程に分かれています。
- どの課程に入学しても、**卒業時に与えられる資格は同じ**です。 (平成30年4月現在の学校数)

課程	特徴
全日制 (139校)	● 中学校と同じように午前から午後まで1日約5時間から7時間の授業を受けて、3年間の中で学び、卒業することを基本としています。
定時制 (21校)	● 1日約4時間(半日単位)の授業を受けて、4年間かけて学び、卒業することを基本としています。3年間で卒業することもできます。 ● 全日制に比べ少人数で授業を行うので、じっくり学ぶことができます。 ● 夜間に授業を行う学校が多くありますが、昼間に授業を行う多部制定時制高校もあります。
通信制 (2校)	● 自宅での学習を中心としています。報告課題(レポート)とスクーリング(面接指導)により学習を進め、試験に合格することで単位が認められます。 ● 自分の生活スタイルや学習ペースに合わせて学べます。4年間かけて学び、卒業することを基本としています。3年間で卒業することもできます。 ● 自宅でIT環境を活用して学んだり、平日の昼間に登校して学習指導等を受けたりすることができるタイプの学校(横浜修悠館高校)もあります。

★ 全日制・定時制

	月	火	水	木	金
午前	■	■	■	■	■
午後	■	■	■	■	■
夜間	■	■	■	■	■

＜全日制に通うAさんの場合＞
朝から夕方まで学校で勉強。
環境問題に関心があるので、卒業後は農学部のある大学に進学したい。(週29時限 3年間で卒業)

＜夜間定時制に通うBさんの場合＞
昼間は将来に向けてアルバイト。
仕事と勉強を両立させて、卒業後は美容関係の専門学校に進学したい。(週22時限 4年間で卒業)

全日制、定時制、通信制、どの課程を卒業しても卒業時に与えられる資格は同じなんだね。



～一人ひとりの生活スタイルに合わせた新しい学びのかたち～

★ フレキシブルスクール(厚木清南高校の例)

全日制・定時制を通した1日90分×6時間の授業展開に通信制を含む3課程の科目を相互に選んで学べます。

時間帯	時限	Cさん(全日制2年)					Dさん(定時制3年)					Eさん(通信制3年)					Fさん(全日制2年)					
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
午前	1		数学Ⅱ	物理					物理					スクーリング	物理						体育混合	保健
	2	物理					物理				スクーリング	数学Ⅱ	物理					体育球技				
午後	3		化学		数学Ⅰ		数学Ⅱ	化学				スクーリング	数学Ⅱ	学習相談				トータル入部実践	スポーツ理論			
	4	数学Ⅰ			化学			化学				スクーリング										
夜間	5																					
	6																					

基本的な内容の科目を学んだうえで特色ある科目等を選択して学びます。

自分の生活スタイルや進路希望に合わせて柔軟に学習を展開できます。

保健体育の教員をめざし、必修履の保健・体育のほかに、スポーツ理論やトレーニング理論と実践aなどを履修。

★ フロントアスクール※(横浜明朋高校の例)

「午前部」または「午後部」に所属して、1日4時間の授業を受けて4年間での卒業を原則とする、昼間に学べる多部制定時制高校です。午前部午後部ともに部間併修により3年間で卒業することも可能です。

＜Gさんの場合＞
午前部に所属し、午後部の5・6校時の授業を受ける部間併修のしくみを活用し、3年間での卒業をめざします。

午前部	午後部
1校時	5校時
2校時	6校時
3校時	
4校時	
ブリッジタイム	

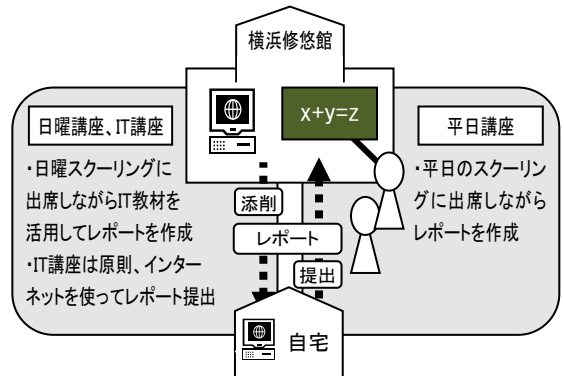
※「フロントアスクール」とは…
県立の多部制定時制高校の愛称です。

午前部と午後部をつなぐ時間として、ブリッジタイムを設け、両部の生徒が委員会活動などを行う時間です。部活動は、午後部の終了後の時間が主な活動時間になります。

＜Hさんの場合＞
午後部に所属し、ブリッジタイムで午前部の生徒とともに委員会活動をし、6校時終了後部活動に取り組みます。

★ 通信制単独校(横浜修悠館高校)

ITを活用して学んだり、平日昼間に登校して学習指導を受けたりできる、通信制課程のみ設置されている高校です。





学びのしくみから考える／学びの内容から考える

平成31年度募集予定の学校

		学 び の し く み				
		学 年 制		単 位 制		
		全日制	定時制	全日制	定時制	通信制
学 び の 内 容 (学 科)	普通科	<p>中学校と同じように、ほとんどの科目についてクラス単位で学び、1学年ずつ進級していきます。</p> <p>【96校】 鶴見 横浜翠嵐 城郷 港北 新羽 岸根 霧が丘 ◆白山 市ケ尾 元石川 川和 荏田 新栄 希望ヶ丘 旭 松陽 瀬谷 瀬谷西 横浜平沼 光陵 ●保土ヶ谷 舞岡 ◆上矢部 金井 横浜南陵 永谷 柏陽 横浜緑ヶ丘 横浜立野 水取沢 新城 住吉 川崎北 多摩 生田 百合丘 ●生田東 菅 麻生 横須賀 横須賀大津 追浜 津久井浜 逗子 逗葉 鎌倉 七里ガ浜 大船 深沢 湘南 藤沢西 湘南台 ★茅ヶ崎 茅ヶ崎北陵 鶴嶺 茅ヶ崎浜 寒川 平塚江南 高浜 大磯 二宮 秦野 秦野曽屋 伊勢原 伊志田 ◆小田原東 西湖 ★足柄 山北 厚木 厚木東 ◆厚木北 ★厚木西 海老名 有馬 愛川 大和 大和南 大和西 座間 綾瀬 ●綾瀬西 麻溝台 上鶴間 上溝 相模原 上溝南 橋本 相模田名 城山 ◆津久井</p> <p>【7校】 横浜翠嵐 希望ヶ丘 横須賀 追浜 茅ヶ崎 伊勢原 津久井</p>		<p>学年の区分がなく、3年間（4年間）で必要な単位数を修得することで卒業できます。</p> <p>【14校】 ≪タイプA：生徒自らが時間割を組み立てる学校≫ 神奈川総合</p> <p>≪タイプB：年次ごとの学びが中心となる学校≫ 横浜旭陵 横浜桜陽 横浜栄 大師 横浜清陵 横浜緑園 ◆三浦初声 ◆弥栄 藤沢清流 平塚湘風 小田原</p> <p>【6校】 小田原 湘南</p> <p>【2校】 横浜修悠館</p> <p>フロンティア スクール （多部制定時制 高校）</p> <p>横浜明朋 相模向陽館</p> <p>フレキシブルスクール（タイプA） 川崎（全日制・定時制）</p> <p>厚木清南（全日制・定時制・通信制）</p>		
	総合学科	<p>3年間で身に付けるべき科目を年次ごとに学ぶとともに、自分の進路や興味・関心に応じて、共通科目から専門科目までの幅広い選択科目群（「系列」）の中から科目を選択して学びます。</p> <p>原則として、全員が入学した年度に「産業社会と人間」という科目で自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学びます。</p>		<p>【7校】 鶴見総合 金沢総合 麻生総合 秦野総合 藤沢総合 座間総合 相模原総合</p> <p>【5校】 磯子工業 向の岡工業 平塚商業 秦野総合 神奈川総合産業</p>		
	専門学科	<p>専門性の高い科目（専門科目）を、普通科や総合学科に比べて多く学ぶようになっていて、将来のスペシャリストをめざします。ほとんどの科目についてクラス単位の授業や実習を通じて学び、1学年ずつ進級していくので、着実に専門性が身に付きます。</p> <p>【20校】 農業 平塚農業 中央農業 農業/商業 相原 工業 神奈川工業 磯子工業 川崎工科 向の岡工業 横須賀工業 平塚工科 藤沢工科 小田原城北工業 工業/商業 商工 商業 平塚商業 ◇小田原東 厚木商業 看護/福祉 二俣川看護福祉 福祉 ◇津久井 美術 ◇白山 ◇上矢部 スポーツ科学 ◇厚木北</p> <p>【2校】 工業 神奈川工業 小田原城北工業</p>		<p>単位制のしくみをいかしながら専門科目を学び、将来のスペシャリストをめざします。複数の学科を設置している学校では、違う分野の専門科目を学べる学校もあります。</p> <p>【7校】 農業 ◇三浦初声 農業/家庭 吉田島 水産 海洋科学 福祉 横須賀明光 国際 横浜国際 総合産業 神奈川総合産業 音楽/美術/スポーツ科学 ◇弥栄</p>		

○ 平成30年4月1日現在の校名です。県立高校改革により、校名を変更する場合があります。◆ 専門学科併置校 ◇ 普通科併置校

* 共通教科の科目：国語、数学、外国語、保健体育、家庭など、どの学科でも共通して学ぶ科目



県立高校改革による新しい学びのかたち

● 県立高校改革における再編・統合、学科改編等の取組

平成29年度：学科改編等（大井、大和東、横浜国際、弥栄、吉田島、小田原東、白山、上矢部、厚木北、大師、横浜緑園、横浜清陵）

平成30年度：再編・統合（三浦初声（三浦臨海・平塚農業初声分校））

平成31年度：学科改編等（吉田島）

平成32年度：再編・統合（氷取沢・磯子、横須賀明光・大楠、平塚農業(全日制)・平塚商業(全日制)、高浜・平塚商業(定時制)、弥栄・相模原青陵)

※ 磯子、相模原青陵及び横須賀明光国際科は平成30年度入学生から募集停止しています。

※ 再編・統合の時期、及び内容等については、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/cnt/f531868/>

● インクルーシブ教育実践推進校～平成28年度 茅ヶ崎、足柄、厚木西の3校を指定しました～

- ・すべての生徒が共に学び、学校行事や部活動と一緒に取り組みます。
- ・授業や学校生活で困ったときなど、生徒一人ひとりの相談にのってくれる、安心できる学校です。
- ・すべての生徒が「共生社会」の担い手となるよう、「進んで学び、考え、行動する力」「一人ひとりの違いを理解し、互いに認め合う力」「様々な人とかかわり、物事を解決する力」「思いやりの心」を育てます。

※ 「共生社会」とは、すべての人が相互に人格と個性を尊重し、支えあい、生き生きと生活できる社会のことです。

※ 3校では、平成29年度から、連携型中高一貫教育の連携募集により、知的障害のある生徒が入学しています。

※ 足柄高校では、連携募集に加え、小田原市と足柄下郡の中学校に在籍する、知的障害のある生徒を対象とした特別募集を実施します。

● 「かながわの通級による指導」の取組～平成29年度 生田東、保土ヶ谷、綾瀬西の3校を指定しました～

導入校では、平成30年度から通級による指導を行います。

※ 通級による指導は、高校入学後、障害等により支援が必要な生徒に対し、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について一人ひとりの状況に応じた、より適切な指導や必要な支援を受ける指導形態です。

※ 障害による学習上または生活上の困難を改善、克服するための指導が行われます。

高校選びに役立つ資料・ホームページ・説明会等

● 「輝けきみの明日」(平成30年7月発行予定)

県内の公立高校の特色などを紹介しています。

● 「平成31年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 募集案内」(平成30年7月発行予定)

平成31年度の公立高校の入学者選抜の方法、日程の他、選考基準等について掲載しています。

● 神奈川県立高校紹介ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/tokushoku/hsw/>

● 学校説明会等

★ 神奈川の高校展2018「全公立展」

平成30年6月16日(土) 10:00～15:30(最終入場) パシフィコ横浜
各校ブース展示やパンフレットの配布等を行います。

★ 公私合同説明・相談会 ※

平成30年8月(12会場で開催)

各地区の公立・私立の高校が集まって、それぞれの学校の説明や相談会を実施します。(会場によりステージ発表等も実施)

★ 学校説明会・文化祭等

高校への理解を深める様々なイベントを各県立高校で行っています。直接行って、学校の雰囲気を感じましょう！

【神奈川県産業教育フェア】

平成30年
11月10日(土)、11日(日)
そごう横浜店9階 新都市ホール

* 専門学科の紹介や学習成果の発表・展示を行います。

※ 【平成30年度公私合同説明・相談会】(予定)

8/1(水)	川崎地区
8/2(木)	横浜中地区
8/4(土)	秦野伊勢原地区
8/6(月)	県央西地区
8/7(火)	県央東地区
8/9(木)	鎌倉湘南地区、相模原地区
8/10(金)	横須賀三浦地区
8/11(土)	横浜北地区、横浜南地区
8/17(金)	平塚地区
8/19(日)	県西地区

会場等は、「公私協調事業『神奈川の高校展』」ホームページ等で確認してください。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課高校教育企画室

〒231-8509 横浜市中区日本大通33 電話(045)210-8254(直通)